

令和7年度 教育課題に対する評価結果 日置市立上市来小学校

2学期の学校教育活動（職員の取り組み方、子どもの実態）について、全職員で自己評価を実施しました。結果は下の表の通りです。来年度も子どもたちの実態が全項目3以上になるように取り組んでいきたいと思ひます。

＜ 職員の取り組み方 ＞

＜ 子どもの実態 ＞

領域	評価項目	2学期
基礎・基本の定着と学力の向上 (教師)	「めあて」と「まとめ」を板書している。	3.1
	自分の考えを書いたり、話し合ったりする場を確保している。	3.6
	相手を意識した発表をさせている。	3.4
	朝の読書の確保や学校図書館等の利用の促進を図っている。	3.9
	音読の継続など読む力（音読力・読解力）の育成を図っている。	3.7
	学年に応じた家庭学習の習慣化を図っている。	3.6
	ICTを有効に活用している。	3.7
特別支援教育・生徒指導・心の教育の推進(教師)	自他の人権を尊重し、思いやりのある言動がとれるよう支援・指導している。	3.6
	特別な支援を要する児童の適切な実態把握と全職員での共通理解を図った支援に努めている。	3.6
	道徳の時間を確保し、子どもの心に届く指導法の工夫・改善に努めている。	3.3
	児童・保護者との教育相談を計画的に実施している。	3.7
基本的な生活習慣の確立 (児童)	早寝・早起き・朝ごはんの習慣が確立している。	3.4
	場や相手に応じた言葉づかいができる。	3.0
	名前を呼ばれたら「はい」という返事ができる。	3.1
	机の中やかばん棚の整理整頓ができていいる。	3.4
	靴箱のくつはきれいにならんでいる。	3.3
気力・体力の向上(教師)	ほげんだより等を通して、自分の健康に関心を持たせ、実践的な態度の育成に努めている。(食事のマナー、姿勢、歯磨き、疾病治療等)	3.3
	(体力・運動能力の結果に基づいて、)めあてをもたせた体力作りに取り組ませている。	3.3

領域	評価項目	2学期
学校の教育目標(目指す子ども像)	子どもは、心のこもった気持ちのよいあいさつができていいる。	3.3
	子どもは、物を大切にし、「ありがとう」という感謝の言葉を言える。	3.4
	子どもは、相手の立場に立って声をかけたり、行動したりしている。	3.1
	子どもは、話をしている人を見て、落ち着いて最後まで聞くことができる。	3.3
	子どもは、学習時間に積極的に発表している。	3.3
	子どもは、よりよい生活を目指して意見を述べたり、実践したりしている。	3.1
	子どもは、時間を守ったり、場の雰囲気を考えて行動したりできている。	3.3
	子どもは、めあてをもって最後までやりとげようとしている。	3.1
	子どもは、根気強く最後までやり抜こうとしている。	3.3